

文化庁 平成 28 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
 「諸外国における民間文化支援の動向調査」

2016 年度オーストラリア調査レポート（メルボルン）

実施日：2016 年 11 月 8 日（火）～11 月 10 日（木）

1. 調査の目的

企業メセナ協議会では 2015 年より、諸外国における民間の芸術・文化振興の動向を調査し、文化支援の考え方や枠組みの違い、日本の企業メセナとの比較や参考となる事例を得るため、ネットワークのある各国文化機関を中心に現地視察とヒアリング調査を実施している。

今回は、2016 年に弊会が主催した国際会議「芸術・文化振興と社会創造における企業の役割～ASEAN ネットワークの構築に向けて～」のゲスト、シドニー・マイヤー財団会長のカリロ・ガントナー氏の協力を得て、オーストラリア・メルボルンにおける官民の文化関連機関を訪問し、同国におけるフィランソロピーや企業のスポンサーシップに関する動向、各機関の取り組み事例について調査を行った。

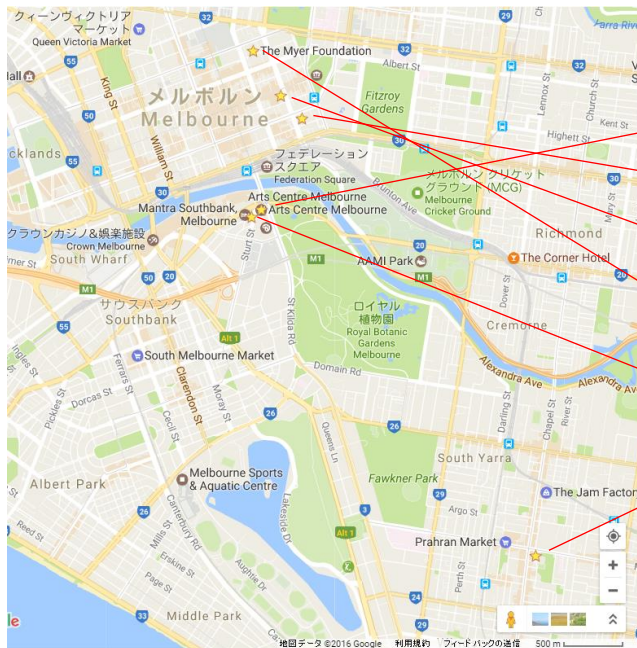
オーストラリアでは社会にフィランソロピーが根付き、個人寄付者から財団、トラスト、企業まで、幅広い文化支援の担い手が存在している。さまざまな中間支援組織によって、国内のフィランソロピー活動に関する充実した情報提供や、寄付者とアーティスト・文化団体のよりよい関係づくりのための多彩なプログラムなど、手厚いサポート体制が整っている。また文化団体側も専門部署によってさまざまなフィランソロピープログラムの工夫がされており、他の財団やフィランソロピー関連団体とのコミュニケーションも活発に行われている。

また、ビクトリア州政府の「Creative State」では、政策の対象として芸術文化とクリエイティブ産業が緩やかにつながられており、社会全体のクリエイティビティの育成・促進、活気につながっていくように感じられた。

2. 視察先・日程

11/8 (Tue)	①	アーツセンター・メルボルン 100 St Kilda Rd, Melbourne, VIC, 3004
	②	フィランソロピー・オーストラリア 55 Collins Street, Melbourne, VIC 3000
11/9 (Wed)	③	クリエイティブ・ビクトリア 31/121 Exhibition St, Melbourne VIC 3000
	④	シドニーマイヤーファンド & マイヤーファンデーション PO Box 21676, Little Lonsdale Street, Melbourne Victoria 8011
11/10 (Thu)	⑤	クリエイティブパートナーシップ・オーストラリア 2-4 Kavanagh Street, Southbank VIC 3006, Australia
	⑥	FIT スポンサーシップ・マーケティング 75a Chapel St, Windsor, VIC 3181, Australia
	⑦	ヴァージン・エアライン・オーストラリア Macquarie Place Sydney NSW 2000, Australia

実施者：末澤汐音（調査研究）、根津青葉（国際交流）



【メルボルン市内地図・訪問先】

- ① Arts Centre Melbourne
- ② Philanthropy Australia
- ⑦ Creative Victoria
- ⑥ Sidney Myer Fund & The Myer Foundation
- ⑤ Creative Partnerships Australia
- ④ FIT Sponsorship Marketing
- ③ Virgin Airlines Australia
※オフィスはシドニー。メルボルン市内で面会。

3. 調査の内容

3-1. 概要

(1) オーストラリアにおけるフィランソロピーの概況

※()内はヒアリング先機関名

- オーストラリアのフィランソロピー（文化以外の分野も含む）の担い手は、個人 50%、企業 30%、トラスト・財団 20% となり、個人寄付が最も多い。また近年では遺贈による支援や財団設立も増加している。
- 企業にとってフィランソロピーの主な理由は、企業プロモーション、支援先団体・プロジェクトの価値への共鳴、支援を通じたプロジェクト参加の実感を得ること、企業の社会的責任、など。一般的な現金によるチャリティーは税制控除の対象外のため、イベントを通して寄付者への利益を見えやすくし、スポンサーと寄付者のよりよい長期的関係を育成するため、ファンドレイズイベントも多く行われている。（フィランソロピー・オーストラリア）
- 文化への支援は民間全体では増加しているが、企業では近年、経営陣や株主からマーケティング的な成果をシビアに問われるようになっており、どちらかというと減少傾向にある。株主への説明をしやすいため、業種に関連の深いコミュニティイベントや、フェスティバルや無料イベントのような観客数が多いイベント、教育系プログラムへの支援が好まれる傾向にある。（クリエイティブパートナーシップ・オーストラリア）
- 年々、政府が芸術・文化、コミュニティへの支援を減らしており、文化団体には企業スポンサーシップなど多様な財源を持続的に確保していくことが期待されている。これまで企業にとっては、スポーツへのスポンサーシップのように、メディアでの露出につながる大きな意味をもってきたが、メディアの細分化、個別化が進む今日、新しい顧客ヘリーチできるようなスポンサーシップが求められている。（FIT スポンサーシップ・マーケティング）
- 2016 年度統計によると、助成を受ける文化団体の総収入のうち、13%が民間からの寄付（総額 4,890 万豪ドル）で、個人寄付やフィランソロピー（7%）が最も多い。企業スポンサーシップ（3%弱）のほか、宿泊提供やメディア協力など資金以外の支援（2%強）も、近年は増加傾向にある。（クリエイティブ・ビクトリア）

(2) ビクトリア州の文化状況とクリエイティブ産業

- ビクトリア州には、アボリジニ文化から、ビジュアルアート、舞台芸術、ファッション、音楽、デザインまで、幅広いカルチャーが存在しており、州立文化施設やギャラリー、劇場にも国内外から多数の観客が訪れている。また、TVドラマおよびデジタルゲーム制作の分野は国内全体の半分の割合を占めている。
- こうした環境の中で、ビクトリア州ではクリエイティブ産業の経済的・社会的価値が高まっており、2015 年、クリエイティブ産業大臣により初めてのクリエイティブ産業戦略「Creative State」が発表された。2016～2020 年の4年間にわたり1億1500万豪ドルの投資と、才能の育成、経済システムの整備・強化、国際的活躍の促進など5テーマのもと約40事業を行っていく。(クリエイティブ・ビクトリア)

(3) 民間企業、財団による文化支援の事例

- アートセンターメルボルンでは、個人向けの寄付プログラムから企業向けの大型パートナープログラムまで複数の寄付プログラムが設定されており、年間収入の6%を寄付により賄っている。最近の大型パートナーはメルボルン銀行、オーストラリアホテル協会、年金貯蓄基金など。寄付企業にとっては、アートセンターでのブランドプロモーションを通じて、より魅力的な潜在顧客との出会いの場になっている。
- シドニーマイヤーファンド&マイヤーファンデーションでは、中堅アーティストやインディペンデントな芸術文化団体、それぞれに特化した助成制度をもち、複数年にわたる充実した支援を行っている。また、舞台芸術の分野で活躍した個人、グループ、ファシリテーターを表彰するアワードも主催している。
- ヴァージン・オーストラリアでは、2011 年より文化支援を拡大させた。現代美術からオーケストラ、映画、ミュージカルまで、幅広いジャンルに対しスポンサーシップを実施し、資金支援のみならず渡航援助や空港・CMでのプロモーションなど、航空会社ならではの協力を行っている。
- 「フィランソロピー・オーストラリア」「クリエイティブ・パートナーシップ・オーストラリア」等の中間支援団体では、オーストラリア国内全体を対象に、専門性の高いスタッフによる寄付者とアート団体をつなぐさまざまな事業が行われている。特にクリエイティブ・パートナーシップ・オーストラリアでは、アート団体のファンドレイジングスキル向上のためのサポートから、マッチングファンド、オンラインファンドの運営まで、芸術文化支援に特化した手厚いメニューが用意されている。
- 民間エージェンツ企業の FIT スポンサーシップ・マーケティングでは、今日の企業のスポンサーシップ・マーケティングの傾向にあわせながら、芸術・文化へのスポンサーシップ獲得に特化した調査・分析・コンサルティングを行っている。文化団体と企業をつなぎ、寄付獲得のためのさまざまな文化団体の価値・市場分析、企画提案を実施している。

3-2. 各機関の概要とヒアリング内容

Arts Centre Melbourne / アーツセンター・メルボルン

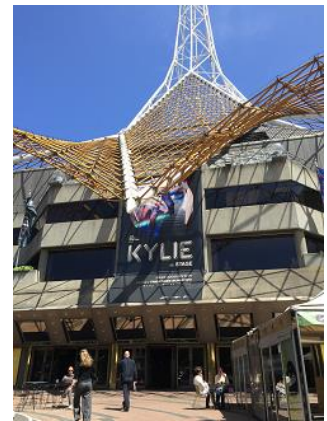
■団体概要

ビクトリア州の文化・芸術の中心的施設で、メルボルン中心部を流れるヤラ川南岸に位置する。オペラオーストラリア、オーストラリアバレエ、メルボルンシアターカンパニー、メルボルン交響楽団が定期公演を行うほか、アジアのコンテンポラリー・アートに特化したオーストラリア最大規模の舞台芸術トリエンナーレ「Asia TOPA(アジア太平洋舞台芸術トリエンナーレ)」のメイン会場にもなっている。



■主な事業と体制

- ・ 国立オペラ、国立バレエ、国立オーケストラのホームシアターであり、シーズン制でプログラムを組む(ブロードウェイなどの商業的なものはプログラムに入らない)。そのほか貸館公演、舞台芸術に関連した展示企画なども行っている。教育普及プログラムも活発で、3歳～大学生を対象にさまざまなプログラムが用意されている。学校のカリキュラムと対応し、休暇時期に安価なチケットで観覧やワークショップに参加できる「スクール・ホリデー・プログラム」などを実施。特に幼稚園対象プログラムが人気。
- ・ 運営体制は、CEO の下、舞台芸術プログラム(企画、プロデュース、プロダクション)、オペレーション(テクニカル、IT、ウェブ等)、顧客マネジメント(マーケティング、広報、コミュニケーション、ファンドレイズ、顧客フィードバック)の 3 セクションで事業に取り組む。運営陣営のフルタイムスタッフは 270 名、その他レストラン、カフェなども含めたアルバイトスタッフ 500 名が勤務する。
- ・ 建物は政府所有の施設だが、政府からの年間助成は事業全体予算の 25%にとどまり、主な収入源は劇場の貸館、チケット収入、フィランソロピー事業(6%)。



■フィランソロピーの活用事例

アーツセンターでは専門部署がさまざまなフィランソロピープログラムを通じた寄付集めに取り組んでいる。近年の大型の民間パートナーは、バンク・オブ・メルボルン、ホスト・プラスなど。主な制度は以下の通り。

- ・ 「Arts Angel Annual Fund」: 個人による寄付。寄付額の幅は一人あたり年間 350～200,000 豪ドルまでに及ぶが、5,000～150,000 豪ドルが一般的(40～1,200 万円相当)。寄付は税制控除の対象になる。
- ・ 「プリンシパル・パートナー」: 企業一社との専属パートナーシップ。現在は 2015 年から 3 年間にわたり Bank of Melbourne が契約。年間 400,000 豪ドル(≒3,200 万円)の寄付を受け、会場や媒体でのロゴ掲出などを独占的に行える。企業にとっては PR、ブランド向上、潜在顧客の拡大に活かせる。
- ・ その他の代表的な寄付企業・団体:
HostPlus: オーストラリアホテル協会により 1988 年に設立された民間基金。5 年間寄付を受けている。
Superannuation: オーストラリアの年金貯蓄基金制度。100,000 豪ドル(約 800 万円)の寄付を受け、同基金のネームバリュー向上、顧客獲得のため、センターでのファンド PR、ロゴ掲出協力を行った。

【訪問日】 2016 年 11 月 8 日(火) 10:00～

【面会者】 Alice Molan (Director, Development)

<https://www.artscentremelbourne.com.au/>

Philanthropy Australia / フィランソロピー・オーストラリア

■団体概要

オーストラリアの寄付文化促進を目指して活動する、非営利のフィランソロピー専門機関。国内全域に支部を持ち、メルボルンオフィスはビクトリア州とタスマニア州を管轄する。スタッフはさまざまな機関でフィランソロピーに関する経験を積んだ専門家によって構成され、国内のフィランソロピスト、団体を支援するため、多彩なリサーチや最新情報の提供・発信、政策提言、ネットワーキング、顕彰等の事業に取り組んでいる。



■主な事業と体制

- ・ 会員制で運営され、現在の会員数は約 350 件。内訳は、トラスト・財団・個人:60～70%、企業・企業財団:10～15%、トラスティ(被信託財団):15～20%。会員は寄付内容に応じたサービスが受けられる。
- ・ 事務局はフィランソロピーに関するプロフェッショナル集団で、12 名のパートタイム職員が勤務する。経理、地域統括、マーケティング、リサーチ、New Generation (18～40 歳) 対象プログラムのチームにわかれて事業に取り組んでいる。



■オーストラリアにおけるフィランソロピーの動向

- ・ 国内のフィランソロピーの担い手は、個人 50%、企業 30%、トラスト・財団 20%という割合。遺贈による支援や遺贈財団も近年よく見られるようになっている。ただし、助成を受ける団体の規模によって傾向は異なり、小さい文化団体への支援はトラストや財団、大きな施設の支援は企業が担い手となっている。
- ・ 企業にとって芸術・文化支援の主な理由は、企業プロモーション、支援先団体・プロジェクトの価値への共鳴、支援を通じたプロジェクト参加の実感を得ること、企業の社会的責任、など。分野としては、先住民族文化・芸術への支援が多いのが特徴的。
- ・ スポンサーとドナーのよりよい長期的関係を育成するために、ファンドレイズイベントも多く行われる。特に、一般の寄付は税制控除の対象外のため、イベントを通して寄付者への利益を見えるように工夫している。
- ・ フィランソロピーの事例の 1 つとして、「Giving Circle」という仕組みが面白い。寄付者が集まり一定の金額を出し合い(一般的には年間 1,000 豪ドル程度)、申請者の中から運営チームが 2～3 団体の候補を選び、寄付者たちへプレゼンし、寄付提供先を投票で決めるもの。寄付者が支援プロセスに関わっているという実感を得られやすい。

【訪問日】 2016 年 11 月 8 日 (火) 14:00～

【面会者】 Chris Wootton (VIC & TAS Manager)

<http://www.philanthropy.org.au/>

Creative Victoria / クリエイティブ・ビクトリア

■団体概要・主な事業

- ・ ビクトリア州のクリエイティブ産業の支援、成長のため 2015 年に設立された州政府機関 (Economic Development, Jobs, Transport and Resources 局 の一部署)。ゲーム、グラフィックデザイン、ファッション、映画制作、劇場、インダストリアルデザイン、工芸など幅広い分野での起業促進、雇用創出のためにさまざまな政策を行っている。
- ・ 主な事業は、クリエイティブ団体への助成金、映画・デザインセクターへの支援、他の行政機関との連携、国際的な顧客・市場調査など。各種統計データの公開、セミナーなどを通じ、クリエイティブ産業のプラットフォームとなることを目指している。

■ビクトリア州のクリエイティブ産業と、「Creative State」政策



- ・ ビクトリア州のクリエイティブ産業は、CVA が 230 億豪ドル、被雇用者は 22 万人にのぼり、経済と社会に創造的価値を与えている分野。さらなる成長のため、2016 年、クリエイティブ産業大臣により初めてのクリエイティブ産業戦略「Creative State」が出され、2016～2020 年の 4 年間にわたり 1 億 1500 万豪ドルの投資を行うことが発表された。
- ・ 具体的には、主に 5 つのゴールを目指し、総計 40 事業を行っていく。①クリエイティブな才能の支援、②クリエイティブ産業におけるエコシステムの強化、③経済的・社会的インパクトの増大、④クリエイティブ産業への参加者、アクセスの増大、⑤国際的活躍促進

■州文化団体の収入構造の例 (『Creative Victoria – Presentation on Private Support Data』より)

- ・ 2015 年、助成を受ける文化団体の収入のうち 13%が民間からの寄付によるもので、総額は 4,890 万豪ドル。2010 年(10%)から増加している。内訳は、個人寄付やフィランソロピーがもっとも多い(7%)が、企業によるスポンサーシップ(3%弱)のほか、宿泊提供、メディア支援などの資金以外の支援(2%強)もわずかながら近年増加傾向にある。
- ・ フェスティバルがもっとも民間の支援に頼っており、全収入のうちチケット収入 44%、スポンサーシップ 19%・寄付 3%。美術館・ギャラリーでは行政支援 40%、寄付 13%。
- ・ 団体規模別に見ると、オペラ、バレエ、オケ等の大規模な組織ではチケット収入 57%、政府 24%、スポンサー・寄付 12%、小規模な地域イベントでは地方政府 55%、チケット 31%となっている。
- ・ ビクトリア州立図書館、ナショナルギャラリービクトリア、ビクトリア美術館、映像センター、Recital センターなどの州立文化施設では、年間予算は州政府による支援が 50%、ドネーション・遺贈 7%。

【訪問日】 2016 年 11 月 9 日 (水) 10:00～

【面会者】 Christopher McDermott (Senior Manager, Policy and Research)

Lainie Kluska (Senior Manager, Communications)

<http://creative.vic.gov.au/>

Sidney Myer Fund & The Myer Foundation /

シドニーマイヤーファンド & マイヤーファウンデーション

■団体概要

オーストラリア最大の百貨店チェーン「マイヤー」の創業者シドニー・マイヤーの遺志を継ぎ、マイヤー一族によって運営される慈善団体で、1959 年に財団設立。芸術、教育、貧困・障害、持続可能性・環境の 4 つの分野で、大小さまざまなグラント・プログラム、顕彰事業、フェローシップ制度を実施している。

■芸術文化分野の主な助成プログラム

- ・「シドニーマイヤークリエイティブフェローシップ」: 7～15 年のキャリアのあるオーストラリア人の中堅アーティスト、アートマネージャー、文化系著名人を対象に支援。2 年間にわたり 160,000 豪ドルの助成を行う。対象分野はビジュアルアート、パフォーマンスアートから学際的分野、ニューメディア、文学まで。2011 年から 47 名、総額 750 万豪ドルを支援してきた。
- ・「パフォーマンスアーツアワード」: 1984 年から始まったアワードで、ダンス、戯曲からコメディ、音楽、オペラ、サーカス、人形劇まで、幅広いパフォーマンス分野で優れた活動を行った個人、グループ、ファシリテーターを表彰する。これまでの表彰額は総額 300 万豪ドル。
- ・「キャパシティービルディングストリームス」: 2015～2018 年の 4 年間、インディペンデントな芸術文化団体を対象に、総額 125 万豪ドルの支援を 2 回にわけて助成する。各グラントは 2 ～5 万豪ドルの間で、2 年ごとに授与される。



■体制

シドニーマイヤーファンドは代表者カリロ・ガントナー氏以下 3 名の管財人、マイヤーファウンデーションは 7 名のディレクターからなる理事会組織が監督し、6 名のスタッフがプログラムごとの委員会組織とともに両組織の実務運営にあたる。年間事業費はマイヤーファンド 7,225,183 豪ドル(文化事業費は 1,920,000 豪ドル)、マイヤーファウンデーション 6,349,221 豪ドル(文化関係費は 1,281,530 豪ドル)。



【訪問日】2016 年 11 月 9 日(水)11:15～

【面会者】Leonard Vary (Chief Executive Officer)、Dr. Neal Harvey (Program Manager)

myerfoundation.org.au

Creative Partnerships Australia / クリエイティブ・パートナーシップ・オーストラリア



■団体概要

オーストラリアにおける文化への民間寄付、投資、パートナーシップを促進し、持続可能で活気ある芸術文化を育てていくことを目的に活動するオーストラリア政府機関。アーティストや文化団体と、フィランソロピスト、トラスト、財団、企業をつなぎ、アーティストや文化団体のファンドレイジングスキル向上のためのイベントやセミナー、ファンドプログラム、アワード事業等を行う。また 2015 年よりオンライン・ファンドレイジングプラットフォーム「Australian Cultural Fund」の運営も行っている。

■主な事業内容

- ・ 税制や申請書の作成といった実践的な講座やワークショップから、フィランソロピストや企業人を招いてのフォーラムなど、文化団体のスキル向上と、芸術・文化支援の促進に資する各種の事業を行っている。
- ・ 芸術・文化と民間セクターのよりよい関係を築き、芸術・文化への寄付精神を奨励するため、フィランソロピー活動における優れたリーダーシップを表彰するアワードを 4 部門にわけ実施している：「Emerging Philanthropy Leadership Award:」「Business Leadership Award」「Arts Leadership Award」「Philanthropy Leadership Award」。
- ・ アーティスト・文化団体が自ら集めた寄付額と同額を政府から支給するマッチングファンドプログラムを 4 年間実施し、よい成果を出している。特に小規模な団体の寄付集めのインセンティブになっている。
- ・ オンライン・ファンドレイジングプラットフォーム「Australian Cultural Fund」には年間で 318 のアーティスト・文化団体が登録し、



昨年では平均 7,371 豪ドル、最高 122,003 豪ドルの寄付を集めた。寄付件数は 6,207 件(個人寄付者数は 5,669 人)、総額は 2,631,794 豪ドルに上る。寄付は税制控除の対象となる。

■オーストラリア企業の文化支援の傾向

- ・ オーストラリアの文化支援は民間全体では増加しているが、企業による支援は年々経営陣や株主からマーケティング的な効果を厳しく見られるようになっており、どちらかというと徐々に減っている状況。
- ・ 傾向的には、企業はコンサバティブなハイアートを支援し、カリロ・ガントナー氏のような個人寄付者や民間団体が先端的・実験的なアートを支える傾向にある。
- ・ 株主に説明しやすいこともあり、企業はコミュニティイベント、フェスティバル、無料イベントのような観客数が多いイベント、教育に関するプログラムへの支援を行いやすい。文化団体にとっては、企業からの支援を得る場合には、純粋なアート活動に加えて何かをしなくてはならない側面もある。
- ・ 業種的には、不動産開発業者はコミュニティに根差したアート活動に関心が高く、ポピュラーミュージックはアルコール飲料など若者をターゲットとする企業から好まれやすい。
- ・ オーケストラやオペラは民間セクターから好まれやすい。オーストラリアン・バレエ団には 15 名のフィランソロピー専門チームがあり、フィランソロピストとのコネクション継続のため、海外ツアーへの招待のような寄

付者にとってユニークな経験、他の愛好者との交流機会を提供するなど、さまざまな工夫をしている。また、30年にわたるスポンサーシップ関係を結んでいる大手通信会社テルストラは、若手バレエダンサーを表彰する「The Telstra Ballet Dancer Award」を実施するなど、独自の取り組みもある。

【訪問日】2016年11月10日(木)10:00～

【面会者】Fiona Menzies (CEO)

<https://www.creativepartnershipsaustralia.org.au/>

FIT Sponsorship Marketing / FIT スポンサーシップ・マーケティング

■団体概要

アート、エンターテインメント、文化、コミュニティ分野の各団体と、企業をつなぎ、芸術支援に特化したコンサルティングを行う民間エージェント。バレエ、オペラ、美術館、ギャラリーなどの文化団体・施設の価値分析とスポンサーシップ獲得のための対企業向け提案書づくり、年次統計レポートの発行等を行っている。

■オーストラリア企業のスポンサーシップとFITの取り組み

- ・これまでオーストラリアの企業にとってスポンサーシップとは、スポーツへの支援に代表されるように、メディアでの露出増加につながることが大きな意味をもってきた。一方で今日はメディアの細分化、個別化が進んできており、企業にとってメディアを通じた対顧客コミュニケーションの難易度が増しており、今日の企業マーケターは、さまざまなマーケティング手法をミックスさせ、TV、ラジオ、広告のように、新しい顧客へリーチできるようなスポンサーシップが必要となっている。
- ・統計調査によると、一般市民の間で人気があるのは、一位が映画、次に音楽と、芸術文化がスポーツよりも上位を占めており、スポーツよりもギャラリーに足を運ぶ人のほうが多い状況にある。芸術文化への支援は企業ブランドを高める手助けになること、魅力的な観客と出会えることを訴えかけ、企業の情熱を引き起こすため、文化施設の価値づけ分析や提案書の作成等、コンサルティングに取り組んでいる。

■芸術文化に対するスポンサーシップ

- ・政府が年々芸術文化、コミュニティへの支援を減らしているため、大きな文化組織は独自に持続的な収入を得ることが期待されている。カテゴリは細分化されるが、芸術・文化全体の幅は非常に大きく、企業にとってもさまざまな目に見えない価値や、多くの情熱をもった観客に出会える分野。各施設のもつポテンシャルや強み、属性を分析し、企業への提案につなげている。
- ・FITではどの分野にどれくらいの資金が動いているかの年次レポートを出している。芸術文化の分野は小さな団体から芸術祭・音楽祭のような大きな団体まで、多数のプレイヤーが存在しているが、最も多く資金が動いているのは舞台芸術の団体やギャラリー、アートセンター、劇場、美術館。近年の新しい動きとして、ライブミュージック、映画にも企業が強い関心を持ち始めている。
- ・企業に対しては、さまざまな統計や独自の分析指標をもとに、ジャンルや団体ごとのスポンサーシップの効果や特性を示しながら提案を行っている。例えば、あるイベントで10万枚のチケットが売れたとき、スポンサーシップの一人あたりの費用を算出し、その費用対効果や特性を比較、提案につなげている。

【訪問日】2016年11月10日(木)11:00～

【面会者】Bruce McKaskill (Managing Director)

<http://www.fitsponsorship.com/>

Virgin Australia / ヴァージン・オーストラリア

■団体概要

本拠地を同国・ブリスベンに置く、オーストラリアで 2 番目に大きな規模の航空会社。前身のヴァージン・ブルー（Virgin Blue）より現社名に変更された 2011 年より、元カンタス空港でアート&エンターテインメント分野のスポンサーシップ事業に従事したエミリー・チュウ氏を招き、文化支援の拡充を図っている。

■代表的なスポンサーシップ事例

ヴァージン・オーストラリアのスポンサーシップ先で近年代表的なものは以下の通り。音楽から映画、エンターテインメント、コンテンポラリーダンスまで幅広いジャンルが対象となっている。

- ・ **音楽**：2012 年より、オーストラリアを代表する楽団 ACO (Australian Chamber Orchestra / オーストラリア室内管弦楽団初) のプリンシパル・パートナーになった。国内外ツアーサポート、輸送支援のほか、空港ラウンジでのプロモーション等を行った。
- ・ **サーカス**：1978 年設立のメルボルンを代表し、これまでに世界 27 か国をまわり 350 万人の動員を誇るサーカス団「Circus OZ」を支援。
- ・ **映画**：『ブラックスワン』『ジュラシックパーク』の企画展支援や CM タイアップで話題になった。
- ・ **ビジュアルアート、ファッション**：「メルボルン・ファッション・フェスティバル」のプリンシパル・パートナーおよびネーミングライツパートナーのほか、クイーンズランド州を代表する美術館「Queensland Art Gallery / Gallery of Modern Art (GOMA)」のパートナー企業になっている。
- ・ **コンテンポラリーダンス**：オーストラリアを代表するコンテンポラリーダンスカンパニー「シドニー・ダンス・カンパニー」を支援している。

【訪問日】2016 年 11 月 10 日 (水) 16:30～

【面会者】Emily Choo (Entertainment and Arts sponsorship Manager)

<https://www.virginaustralia.com/>

以上